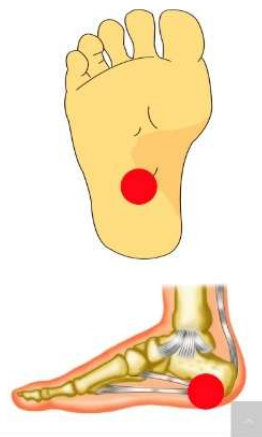




—院長のひとり言—

足部の痛み

怪我もしていないのに足が痛くなること皆様経験したことないでしょうか？
人間は二本足動物です。足が痛ければ、行動範囲は狭くなり、
仕事 生活に多大なる影響をもたらします。
一口で足の痛みといっても、様々な原因が考えられます。
今回はレントゲンなどの画像診断では、なかなかわかりにくい足底の痛みに
関してお話したいと思います。



—そくていけんまくえん 足底腱膜炎—

実はわたくしも昨年なった疾患です。

踵骨^{しょうこつ}から足趾の裏側に存在する足底腱膜が過緊張し、
微小損傷を繰り返すことで変性し、異常血管や神経が増生、
炎症^{じゃっき}を惹起するため引き起こすと考えられています。



臨床的には、起床時の一歩目が痛くて足がつけられない。(図 1)
歩行すると痛くて長距離が歩けないなどがあります。

レントゲン撮影をすると踵骨^{こつぎょく}に骨棘^{こつぎょく}が認められる
場合があります。(図 2)



治療としては、足底のストレッチ、インソール、足底板の作成、 (図 1)

(図 2)

消炎鎮痛剤の投与、超音波治療などがあります。

私もしばらく消炎鎮痛薬を服用していましたが改善せず、下図のごとく足底板を作成してもらい 1
か月間ほどで完治しました。皆様も足の裏の痛みでお困りの方は、気軽にご相談ください。

この装具を一か月
装着して治りました！

